

経営支援員と二人三脚



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

伝統の修復技術で 京都の美を後世に伝える

伝統技術を海外市場向けにアレンジして提案

新しいことにチャレンジするのが好きで、これまでミニ屏風やコースターなど日常で使ってもらえるようなアイテムを独自に開発しましたが、実際に商品化するのには難しく、もっとアウトプットを意識したものづくりができないかと考えていました。

京商の海外販路開拓支援メニューと出会ったのは、ちょうどその時のこと。3年間の取り組みでは、フランスのデザイナーとコラボし、西陣帯の焼箔や絞り和紙の技術を使ったコーヒーテーブル、ランプシェード等を開発。私たちでは思いつかないようなユニークなアイデア、市場を見据えたプロダクトを具現化することで、伝統の粋にとどまらない表装・表具技術の可能性を大きく広げることができたと思います。

パリで開催されるメゾン・エ・オブジェにも出展し、海外のバイヤーから高い評価を得ました。私たちのホームページを見て、古い掛け軸を修復してほしいという注文が寄せられるなど、今後のステップアップに向けて大きな自信につながりました。

プロダクト開発からマテリアル商材の提案へ

これまでの商品開発・販路開拓支援の取り組みを通して学んだことを生かして、昨年11月、京商の支援で補助金を活用し、ライフスタイルやリビングに関する首都圏での展示会に参加。当社の商品を紹介するカタログを作成・配布しました。建築会社やデザイン会社にターゲットを絞って、オール杉素材で作った屏風や越前和紙を組み合わせた焼箔パネルを提案し、インテリア分野など新たな市場開拓を目指しています。

その他、ものづくりやプロモーションを支援する専門家より「表装・表具の技術をもっとアピールしては」というアドバイスを受け、プロダクトだけでなくマテリアル商材の提案についても考えるきっかけになりました。例えば、古くて傷んだ掛け軸と打ち直して綺麗になった掛け軸をビフォー・アフターで展示し、当社の価値を知ってもらうことで、「この技術を使って、こんな商品開発ができないか」という新しいニーズの掘り起こしにつなげたいですね。私のチャレンジ精神を満たす支援メニューが京商にはたくさんありますので、これからもどんどん活用していこうと思います。

私たちが抱えている課題や悩み、ステップアップに合わせて、経営支援員が適切なアドバイスと支援メニューを提案してくれるのが魅力です。海外のハイブランドから問い合わせがあるなど海外販路開拓に手応えを感じているので、京商と二人三脚でさらにその取り組みを深化させていきたいですね。



代表取締役 田中 善茂さん

企業概要



焼き箔パネル



コースター

掛け軸や屏風、襖、壁装など、京表具の新調(表装)・修復を手がける。日焼けやシミ、亀裂、折れなど様々なトラブルも、お客様のニーズに応じて新品のように生まれ変わらせる。培ってきた伝統技術を生かし、現代のライフスタイルに合ったモダンな商品も多数開発。日常使いのアイテムからインテリア、建築商材まで幅広く提案する。

株式会社弘誠堂

代表者/田中 善茂

住 所/京都市中京区聚楽廻中町27-12

T E L / 075-811-3394 U R L / <http://kyo-hyogu.com/>